

英語科における生徒参加型授業とは

～コミュニケーション活動についての再検討～

山梨県立大学 杉田由仁

研究内容についての整理

東山教協外国語部会 研究テーマ

「基礎学力をつけるための指導の工夫」

～意欲的に英語学習に取り組む生徒の育成
を目指して～

研究内容についての整理

研究のキーワード

- 基礎・基本をしっかり定着させる
- 参加型授業づくりを通して積極性と活用する力をはぐくむ
- 教科書の内容プラス1の活動を仕組む
- 4領域をバランスよく指導する

研究内容についての整理

研究仮説(案)

- 4領域のバランスがとれた、生徒参加型の授業づくりを行うならば、生徒の英語学習への意欲・関心が高まり英語の基礎学力の定着・向上が促進され、授業に対する積極性と学んだ知識を活用する力が育つであろう

本日の話題提供の位置づけ

- 「研究仮説」の検証を行うためには「生徒参加型の授業」について概念規定を明確にしておく必要がある
- 英語の授業における生徒参加の具体的形態とは「コミュニケーション活動」である、という認識に基づいて話題提供を行う

コミュニケーション活動の考え方

授業における「行為」と「活動」(小山内 2002)

- 生徒の「行為」: 説明を聞く、質問に答える、反復する、模倣する、暗記する、音読する、練習問題をやる
- 教師の「行為」: 説明する、質問して発言を促す、注意を引きつける、作業の指示を与える、机間巡視をする

コミュニケーション活動の考え方

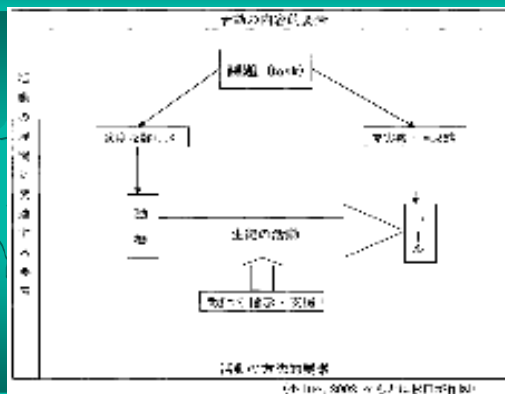
「活動」の定義 (小山内 2002)

- 授業における「活動」は、扱われる内容・技能を中心に、教師が学習者の協力を得て目的意識的に展開する「行為」の連鎖である (p.158)
- 「活動」とは、動機が形成され、ゴールをめざして、実際に行動すること (p.176)

コミュニケーション活動の考え方

「活動」の定義 (小山内 2002)

- 適度な難しさを持った課題があり、苦勞しながらも学んだことが実際に使えて、充実感が味わえるような「活動」は、それを全体的に遂行するのに必要な個別的「行為」を活発化させ、学習意欲を高めるのである (p.160)



活動の展開に関連する要素

「生徒の活動」を活性化する内容的要素
→コミュニケーション活動における「課題」が備えるべき要件 (杉本 2006)

- 学習目標として到達すべき目標が設定されていること
- 目標となっている表現や文法事項を使って情報交換をし、課題を遂行できること

活動の展開に関連する要素

「生徒の活動」を活性化する内容的要素

- 実際のコミュニケーションと同じか、似ている作業ができること
- 課題の内容が現実の生活に関連し、かつ生徒の興味・知的関心と合致していること
- 生徒自身がその課題を主体的に解決していけること

活動の展開に関連する要素

具体的な活動形態の例

- インフォメーション・ギャップ活動
- 問題解決活動
- ジグソー活動
- 意見交換活動 など

活動の展開に関連する要素

「生徒の活動」を活性化する方法的要素

→コミュニケーション活動における「教師の助言・支援」のあり方 (小山内 2002)

- 学習者の「活動」への参加を促し、「活動」をどのような「行為」の連鎖にすれば取り組みやすくなるかを示唆するような助言
- 事前に「生徒の思考の流れ」のシミュレーションを行い、授業における生徒の活動の活性化と学習動機の強化につながるような支援

リーディングの指導過程

[Stage 1] Pre-reading activity

読み手の先行知識を読みとる文章の話題と関連させて、初期連想させるために行う活動

- 活動例
 - ✓ 題名が何を表しているかを考えさせる
 - ✓ 文章の概要についてのオーラル・イントロダクションを行う
 - ✓ 作者や作品、内容などを事前に紹介し、それについてQ&Aを行う
 - ✓ 文章に関連するさし絵や写真についてコメントさせる

リーディングの指導過程

[Stage 2] While-reading activity (1)

スキーマが活性化され、初期連想ができたところで実際に文章を読む活動

→文章を読んだ後で行う活動について明確に説明し、どのような読み方をすればよいか意識づけをしてから読ませるようにする

- 活動例
 - ✓ 読み取りのポイントを与え、黙読させる
 - ✓ 文章のタイトルを選ばせるために、すくい読みさせる
 - ✓ ある単語と同じ意味の語句をチェックさせるために、検索読みさせる
 - ✓ 速読の後でT-F問題に答えさせ、wpmを算出させる

リーディングの指導過程

[Stage 2] While-reading activity (2)

文章全体の内容理解ができた後で、語彙や文法、表現などに注目させて行う活動

- 活動例
 - ✓ 日本語要旨の空所にあてはまる訳語を書き入れさせる
 - ✓ 新出の文型を含んだ一文を正確に訳させる
 - ✓ 文法項目についての説明を行う

リーディングの指導過程

[Stage 3] Post-reading activity

リーディングによる内容理解が十分に行われたかを確認し、他の技能の習得に発展させる活動

- 活動例
 - ✓ 新出語句の発音練習や本文の音読練習
 - ✓ 内容理解を確認するための英問英答
 - ✓ 英語によるストーリーの説明
 - ✓ 読解した文章の要旨を英語で書く

参考文献

- Ellis, R (2001). SLA Research and Language Teaching, OUP
- 斎藤栄二・鈴木寿一 (2001)『よりよい英語授業を目指して』大修館書店
- 杉本義美 (2006)『中学校英語授業指導と評価の実際』大修館書店
- 大喜多喜夫 (2004)『英語教員のための授業活動とその分析』昭和堂